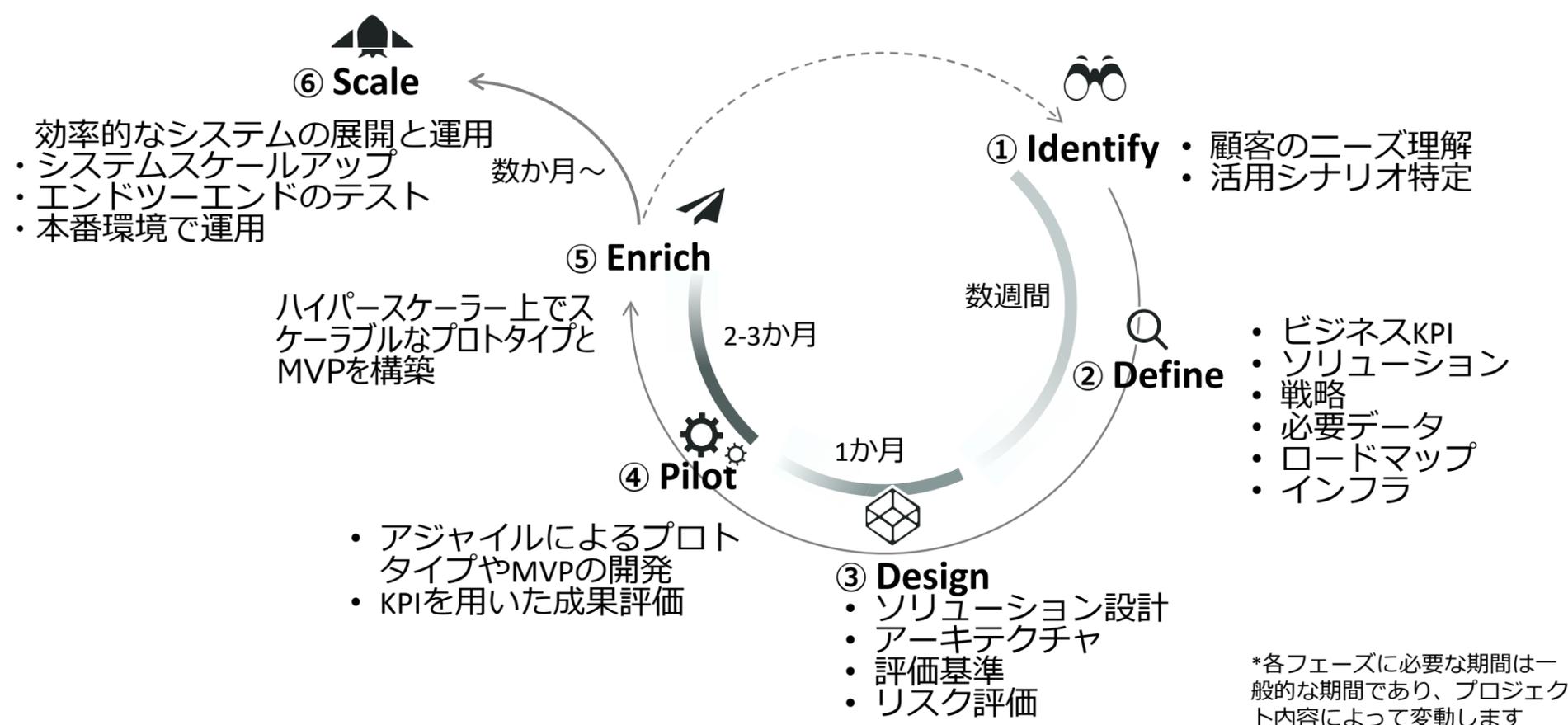


TCS

AI センターオブエクセレンス本部

2024年5月にAI First EnterpriseのためのAIの専門集団組織を設立

AI導入を加速するAI CoEの支援サイクル



ディスカバリー

- ビジネス・テクノロジーのステークホルダーワークショップ
- 既存のユースケースのレビューと新たなユースケースの検討
- 活用方法や適応シナリオのテーマ検討
- ステークホルダーワークショップやユースケースの発見プロセスを通じて収集した情報を、関係者に報告し、共有



現状のケイパビリティマッピング

- AI/MLケイパビリティ成熟度モデル TCS Datom™に基づく現状の成熟度評価
 - ✓ データ
 - ✓ テクノロジー
 - ✓ プロセス
 - ✓ 人材と文化
- 現状の成熟度のまとめと詳細の提示



目標とするリファレンスアーキテクチャ

- リファレンスアーキテクチャを設計する際の指針となる原則の定義
- AIサービスの共通テーマに基づいたユースケースの分類
- 共通テーマ (AIサービス) に基づく最適なリファレンスアーキテクチャの提案
- AI/ML分野における技術プラットフォームの評価と推奨
- 運用モデルと作業方式のオプションの検討

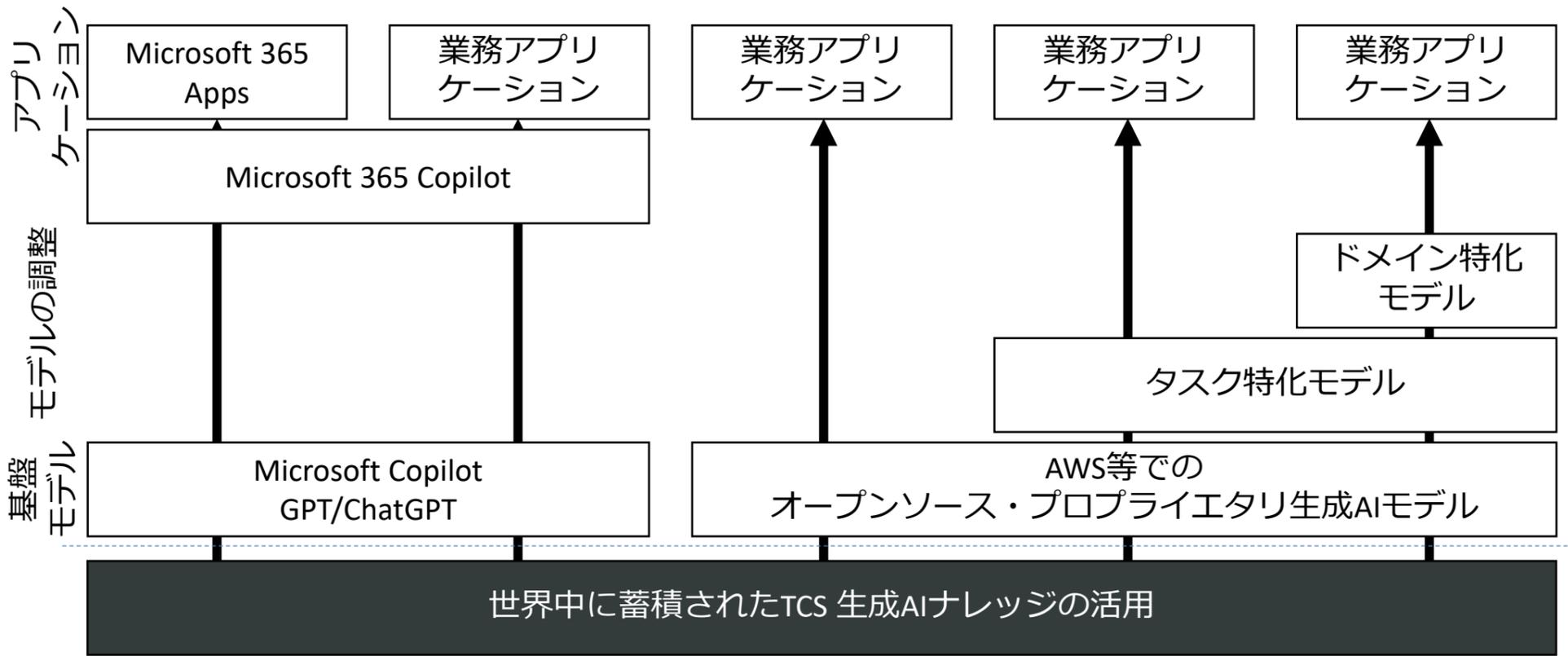


ハイレベルロードマップ

- 目標とするリファレンスアーキテクチャの最終決定
- ハイレベルな目標運用モデルの最終決定
- ハイレベルなロードマップの最終決定
- ハイレベルなビジネスケースの最終決定

生成AIで業務効率化と新価値創造を実現 - TCSによるAI First Enterpriseソリューション

生成AIとアプリの連携による業務効率化をトータルサポート



モデルの高度化からデプロイメントまでトータルソリューションを提供

ステップ	一般的な見解	TCSによるご支援
1 モデル適応と性能向上	生成AIは一般的なデータで学習されているため、特定ドメインでの性能を発揮するには追加の調整が必要です	TCSはお客様のドメインに特化したデータを用いて、モデルの追加学習とファインチューニングを行い、精度と堅牢性を向上させます。これによりお客様のビジネスに最適化されたモデルを提供します。
2 モデル信頼性の確保	多くの大規模言語モデルは、遊学性や透明性の検出において十分な性能を発揮していません	TCSはドメイン中心のデータを用いたモデルの再調整により、有害性や透明性の問題を大幅に改善します。これにより、信頼性の高いモデルを提供します。
3 モデル完全性の維持	モデルの精度と社会的バイアスのバランスをとることが大切です	TCSは人間のフィードバックと効果的なプロンプトによる継続的な学習を通じて、モデルの完全性テストを実施します。これにより、より公正なモデルを提供します。
4 プロンプトエンジニアリング	多様なタスクに適応させ、最高のパフォーマンスを引き出すためには、プロンプトエンジニアリングが必要です	TCSは、要約の改善、Q&A、生成タスクなどお客様のニーズに合わせたプロンプトエンジニアリングを提供します。これにより、高性能なモデルを実現します。
5 モデル統合と機能拡張	業界特有のユースケースに対応するためには、様々な補完技術との統合が必要です	TCSはお客様のニーズに合わせて、生成AIモデルと各種技術の統合を行います。これにより、お客様の業務に必要な機能を実現し、ソリューションの価値を最大化します。
6 デプロイメントサービス統合運用	生成AIアプリケーションを実際のビジネスに活用するためには、適切なデプロイメントとサービス統合が必要です	生成AIアプリケーションのコンテナ化と、APIを使用した社内データレイクとの統合を行います。これにより、お客様のビジネス環境に適したシームレスなデプロイメントと運用を実現します。

世界標準の技術力でマルチクラウド・オンプレミスにも対応しています